

2017年度東海地区協議会研究会運営委員会 第1回議事録

日時：2017年5月8日(月)14時00分～16時00分
場所：日本福祉大学東海キャンパス(6階 会議室5)
出席者：佐藤・石川(日本福祉大学)、前田(同朋大学・名古屋造形大学)、尾崎・澤木(名古屋女子大学)、古田(愛知大学)、榊岡(愛知工業大学)、田中(金城学院大学)、山際(皇學館大学)、近藤(中部大学)、石川(東海学園大学)、中田(名古屋学院大学)、石田(南山大学)、大橋(人間環境大学) 敬称略

会議に先立ち、出席者により簡単に自己紹介があった。議長は研究会運営委員長校の日本福祉大学の佐藤委員が担当した。

1. 2017年度東海地区協議会研究会事業計画について(確認)

委員長校の佐藤委員、石川(宗)委員より、以下3点について提案があり、決定した。

- (1) 2017年度東海地区協議会研究会運営委員名簿
- (2) 2017年度東海地区協議会研究会事業計画(案)
- (3) 2017年度東海地区協議会研究会予算(案)

2. 2017年度見学会について

(1) スケジュールについて

石川(宗)委員より、資料2-1、2017年度見学会までのスケジュール(案)(差替資料)及び見学会当日のタイムスケジュール(仮)について提案があった。

見学会当日のタイムスケジュール(仮)については、5月15日の見学先下見訪問を踏まえ、時間が若干前後する可能性があることを含め提案があり、決定した。

見学会までのスケジュール(案)については、5月30日に見学会開催案内を行い、6月23日の見学会の参加申し込み締め切り後、参加確定者に対し7月5日に事前アンケート依頼を行う提案があり、決定した。

また、見学会の下見は見学会担当委員3名で訪問し、訪問先での確認点としては各大学担当による冒頭説明内容や見学施設のルート、見学方法、事前アンケートにかかわること、集合場所やバス発着場所等の確認などとの提案があり、決定した。

見学会までのスケジュール(案)に関連し、石川(宗)委員より、追加資料「2017年度図書館見学会について(ご案内)」にもとづき、参加希望者の申し込み方法については、

「SurveyMonkey」を東海地区協議会予算で購入して使用すること、派遣や委託職員も参加可として追記の提案があり、決定した。

(2) 申し込み・参加条件について

石川(宗)委員より、資料2-2のとおり、申し込み・参加条件(案)について提案があり、決定した。

なお、派遣・委託職員についても正規職員と同じ条件とし、バス代金等は徴収しないこととする。

(3) 事前アンケートについて

尾崎委員より、事前アンケート（案）について、次のとおり提案があった。

前回同様、事前アンケートを実施する。事前アンケート方法は参加申し込み方法と同様に、Webで行う。アンケートを実施するにあたり、5月15日の見学会下見において訪問先大学の特色やアピールポイントなどを確認し、各大学の了承を得たうえで、写真画像を表示させるなどして回答しやすいよう工夫する。

提案に対し、田中委員より訪問先大学担当者の質問に対する回答への負担や、参加確定者のアンケート回答への負担、さらに「SurveyMonkey」使用における運営委員側の負担増にかかわり、懸念が示された。

これに対し、次のとおり決定した。

今回はポイントを絞って回答者の負担が少ないよう内容をスリム化する。質問への回答時間も限られることから可能な範囲で内容を絞る、または包括的に回答いただく。「SurveyMonkey」は使用経験のある委員のアドバイスを受けながら、項目を精査して実施する。

3. 研究会について

前田委員より、研究会に向けたスケジュールや講演以外の内容等について、第1回運営委員会終了後に研究会担当者会議で協議する旨説明があり、了承された。

4. 東海地区協議会ウェブサイトについて

(1) 東海地区協議会ホームページの更新

コンテンツ係担当の田中委員より、資料4のとおり、東海地区協議会ホームページの更新について提案があり、決定した。

また、田中委員より「図書館管理・運営実務責任者会議」にかかわる東海地区協議会ホームページでの表記方法について、理事校の愛知大学より「図書館管理・運営実務責任者会議」にかかわる表記はそのまま残し、役員校名は表記しない（空欄とする）意向が示されたとの説明があった。併せてこのことは、規程が廃止されたわけではなく2017年度については会議として開催しないという状況であることを踏まえてのことであるとの説明があった。

この件について、東海地区協議会ウェブサイトの責任者である理事校の愛知大学からの意向でもあるため、研究会委員長校の日本福祉大学より理事校に対し、5月19日に予定されている東海地区協議会総会の場で簡単にコメントいただく確認をすることを決定した。

(2) 『館灯』55号のJ-STAGE上での公開

田中委員より、資料4のとおり、『館灯』55号のJ-STAGE上での公開について、5月1日付でホームページに掲載を終えたこと、PDF本文リンクについては第38号以降となっていることについて説明があり、了承された。

5. 2017年度『館灯』について

(1) 掲載内容について

館灯担当の澤木委員より、資料 5-1 のとおり、2017 年度『館灯』の掲載内容について次のとおり提案があり、決定した。

研究会はこれまで年 2 回開催され、第 1 回目の研究会記録は副幹事校が担当し、第 2 回目の研究会記録は次期主幹事校が担当してきたが、2017 年度は年 1 回の研究会開催となるため、研究会記録担当は次期主幹事校とする。また、昨年度より館灯担当校が主幹事校から副幹事校へ変更されたことに伴い、加盟館名簿確認作業を次期主幹事校から副幹事校(館灯担当校)へ変更する。

(2) 刊行までのスケジュールについて

澤木委員より、資料 5-2 のとおり、刊行までのスケジュールについて、原稿締切を 2017 年 12 月 8 日、発行を 2018 年 3 月 31 日、各大学送付を 2018 年 4 とするとの提案があり、決定した。

(3) 掲載論文・記事原稿募集の依頼文書と配信用メール文面について

澤木委員より、資料 5-3 のとおり、掲載論文・記事原稿募集の依頼文書と配信用メール文面について提案があり、決定した。

6. その他

今回の運営委員会は、7 月 14 日(金) 14 時から、日本福祉大学東海キャンパスにて開催することを確認した。担当者会議については別途個別に確認することとした。

以上

記録者：日本福祉大学 石川